



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月8日
上場取引所 東

上場会社名 生化学工業株式会社
 コード番号 4548 URL <http://www.seikagaku.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水谷 建
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 針生 敦司 TEL 03-5220-8950
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 平成28年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	15,085	△5.4	783	△61.8	1,376	△46.5	1,013	△47.8
28年3月期第2四半期	15,954	12.0	2,050	31.1	2,575	22.1	1,941	15.0

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △180百万円 (-%) 28年3月期第2四半期 2,869百万円 (17.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	17.87	—
28年3月期第2四半期	34.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	77,906	68,563	88.0
28年3月期	80,218	69,815	87.0

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 68,563百万円 28年3月期 69,815百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
29年3月期	—	13.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,650	△4.2	1,250	△41.7	2,650	△24.3	2,000	△22.4	35.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、『添付資料』P. 3「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	56,814,093株	28年3月期	58,584,093株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	209,585株	28年3月期	1,779,510株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	56,720,945株	28年3月期2Q	56,804,888株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記予想は、本資料の発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、平成28年11月8日より当社ウェブサイトに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年9月30日）の売上高は、米国ジェル・ワンや国内医薬品の数量が増加した一方で、円高や国内における薬価引き下げの影響を受け、前年同期と比べ5.4%減の150億8千5百万円となりました。

利益につきましては、円高や薬価引き下げに伴う原価率の上昇に加え、米国における腰椎椎間板ヘルニア治療剤SI-6603のオープン試験進展等に伴い研究開発費が増加したことなどから、営業利益は61.8%減の7億8千3百万円となりました。投資有価証券売却益の減少や為替評価損発生というマイナス要因の一方で、受取ロイヤリティーというプラス要因があったことから、経常利益は46.5%減の13億7千6百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は47.8%減の10億1千3百万円となりました。

セグメント別の売上概況

<医薬品事業>

- ・国内医薬品（85億1千8百万円、前年同期比2.2%減）

関節機能改善剤アルツは、市場全体がほぼ横ばいで推移するなか、平成28年4月の新容器の市場投入に伴う販売提携先の積極的な販促活動により、医療機関納入本数は微増となりました。当社売上は、数量が増加したものの、薬価引き下げの影響を受け減少しました。

眼科手術補助剤オペガン類は、平成28年7月に製品ラインナップ強化を目的として発売したシェルガンが好調な立ち上がりを示しており、医療機関納入本数が増加しました。当社売上は、数量増により薬価引き下げの影響をカバーし、微増となりました。

内視鏡用粘膜下注入材ムコアップは、平成28年4月の販売提携先変更に伴う在庫積み増し等があり、当社売上は増加しました。

- ・海外医薬品（32億2千7百万円、同15.7%減）

米国における単回投与の関節機能改善剤ジェル・ワンは、現地販売が堅調に伸びており、当社売上も円高の影響をカバーして増加しました。引き続き、販売提携先の活動支援に注力し、更なる売上拡大を目指していきます。

5回投与の関節機能改善剤スパルツF Xは、複数回投与製品の競合環境が引き続き厳しいことから、米国現地販売は微減となりました。当社売上は、前年同期に出荷が集中した反動や、円高の影響を受け減少しました。

中国向けアルツは、政府の価格抑制策等による現地販売の減少が続いており、当社売上は円高の影響もあり減少しました。

- ・医薬品原体（5億3千6百万円、同18.9%減）

コンドロイチン硫酸は前年同期並みとなりましたが、ヒアルロン酸の競合が激しいことから売上高は減少しました。

これらの結果、医薬品事業の売上高は122億8千1百万円（同7.0%減）となりました。

<LAL事業>

海外売上において円高の影響を受けましたが、国内外のエンドトキシン測定用試薬等が増加したことから、売上高は28億3百万円（同1.8%増）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期までの実績及び現時点で見通すことの出来る諸要素を織り込み、平成28年5月12日に発表した平成29年3月期連結業績予想を以下のとおり修正しました。

売上高は、海外医薬品やLAL事業における円高の影響を、国内医薬品の堅調な推移で補い、前回予想並みとなる見込みです。営業利益については、研究開発費を中心とした経費見直しにより、前回予想を上回る見通しです。一方、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、受取ロイヤリティーの減少や、為替評価損の増加により前回予想を下方修正しました。

また、腰椎椎間板ヘルニア治療剤SI-6603は、平成29年3月期中の国内承認取得を目指しておりましたが、品質管理に関する審査対応に想定よりも時間を要しており、当期中の承認取得は厳しい状況にあります。引き続き、承認取得に向けて努力してまいります。

なお、3回投与の関節機能改善剤ヴィスコ・スリーについて、平成28年11月8日にジンマー バイオメット ホールディングス社と米国における独占販売契約を締結しました。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	29,550	1,000	3,350	2,550	45.00
今回修正予想（B）	29,650	1,250	2,650	2,000	35.30
増減額（B－A）	100	250	△700	△550	—
増減率（％）	0.3	25.0	△20.9	△21.6	—
前期実績（平成28年3月期）	30,962	2,144	3,500	2,578	45.39

（注）第3四半期以降の連結業績予想の為替レートは、対米ドル110円から103円に変更しています。研究開発費の予想は78億5千万円（前回予想比6.5%減）、対売上高比率は26.5%となります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、見積実効税率に係る法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含まれております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,511	6,838
受取手形及び売掛金	8,014	7,745
有価証券	5,755	4,078
商品及び製品	3,930	3,474
仕掛品	1,997	2,114
原材料及び貯蔵品	1,332	1,421
繰延税金資産	1,024	1,041
その他	1,708	1,297
貸倒引当金	△6	△3
流動資産合計	31,269	28,010
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,644	22,445
減価償却累計額	△10,458	△10,734
建物及び構築物(純額)	12,186	11,711
機械装置及び運搬具	22,668	22,437
減価償却累計額	△13,576	△13,991
機械装置及び運搬具(純額)	9,091	8,446
土地	932	926
リース資産	185	179
減価償却累計額	△110	△101
リース資産(純額)	75	78
建設仮勘定	1,234	1,345
その他	5,101	5,253
減価償却累計額	△3,953	△4,135
その他(純額)	1,148	1,117
有形固定資産合計	24,668	23,624
無形固定資産		
その他	331	294
無形固定資産合計	331	294
投資その他の資産		
投資有価証券	23,185	23,115
長期貸付金	40	20
その他	771	2,868
貸倒引当金	△47	△27
投資その他の資産合計	23,949	25,976
固定資産合計	48,949	49,896
資産合計	80,218	77,906

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,809	1,831
1年内返済予定の長期借入金	285	285
リース債務	34	35
未払金	3,209	2,721
未払法人税等	379	256
賞与引当金	602	619
その他	369	387
流動負債合計	6,691	6,137
固定負債		
長期借入金	428	285
リース債務	51	54
繰延税金負債	1,269	1,011
退職給付に係る負債	855	822
資産除去債務	37	37
その他	1,068	994
固定負債合計	3,711	3,205
負債合計	10,403	9,342
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,840	3,840
資本剰余金	5,301	5,301
利益剰余金	59,379	57,583
自己株式	△2,081	△344
株主資本合計	66,439	66,381
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,682	3,088
為替換算調整勘定	579	△140
退職給付に係る調整累計額	△885	△766
その他の包括利益累計額合計	3,375	2,181
純資産合計	69,815	68,563
負債純資産合計	80,218	77,906

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	15,954	15,085
売上原価	6,544	6,570
売上総利益	9,409	8,514
販売費及び一般管理費		
販売手数料	888	865
人件費	966	982
賞与引当金繰入額	164	165
退職給付費用	59	71
研究開発費	3,749	4,109
その他	1,529	1,537
販売費及び一般管理費合計	7,358	7,731
営業利益	2,050	783
営業外収益		
受取利息	41	30
受取配当金	125	154
為替差益	80	—
投資有価証券売却益	271	12
受取ロイヤリティー	—	565
その他	66	56
営業外収益合計	585	819
営業外費用		
支払利息	19	16
為替差損	—	207
減損損失	29	—
その他	12	2
営業外費用合計	60	226
経常利益	2,575	1,376
税金等調整前四半期純利益	2,575	1,376
法人税、住民税及び事業税	618	405
法人税等調整額	14	△42
法人税等合計	633	362
四半期純利益	1,941	1,013
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,941	1,013

（四半期連結包括利益計算書）
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）
四半期純利益	1,941	1,013
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	850	△594
為替換算調整勘定	33	△719
退職給付に係る調整額	43	119
その他の包括利益合計	928	△1,194
四半期包括利益	2,869	△180
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,869	△180
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年5月12日開催の取締役会決議に基づき、平成28年5月31日付で、自己株式 1,770,000株の消却を実施いたしました。この結果、利益剰余金及び自己株式がそれぞれ2,070百万円減少しております。

また、平成28年6月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式 200,000株の取得を行いました。この結果、自己株式が332百万円増加しております。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末において利益剰余金が57,583百万円、自己株式が344百万円となっております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	医薬品	L A L	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,201	2,753	15,954	—	15,954
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	13,201	2,753	15,954	—	15,954
セグメント利益	1,504	545	2,050	—	2,050

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	医薬品	L A L	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,281	2,803	15,085	—	15,085
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,281	2,803	15,085	—	15,085
セグメント利益	208	574	783	—	783

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。